

障害のある人を雇用しています

⑧ 菌床しいたけの場合

【主な仕事内容】 ● 乾物加工、箱づくり、箱詰め



株式会社 森の環
富山県高岡市葦附1239-55
電話 / 0766-36-1810
【URL】http://morinowa.co.jp

農業MEMO

大規模工場で4名の障害のある人が活躍。10年以上のベテランも。



1985年、カネボウ(現クラシエ)が開発した菌床栽培システムの協力会社として菌床製造及び、しいたけ栽培を開始。2018年には空き工場(ニット製造)を栽培工場・パッケージセンターに再生。地中熱利用システムや太陽光発電等を取り入れ、環境にも配慮した生産拠点に生まれ変わる。同年10月に現社名に変更(旧上田産業)。年間約110万菌床を41棟のハウスで栽培している。2019年現在は、各工程で障害のある人4名を雇用。中には12~15年のベテランもいる。今後は栽培が終わった後の廃菌床の再活用にも力を入れていきたいとしている。



機械を導入し効率化
パック詰めのラインは3つに分かれ、全てが機械でシステム化されている。



減圧乾燥機を使った茸類の乾物加工
1パレットに2kgのしいたけを乗せ、専用の減圧乾燥機で乾物に加工する。



各生産物の出荷用箱の組み立て



しいたけの乾物加工



出荷前の乾物加工品



障害のある人と「農業を連携」して良かったこと

2019年現在は菌床工程で1名、栽培工程で1名、パック詰めの工程で2名の障害のある方に作業をしてもらっています。出来るところから始めて、この会社で自信をつけてもらえることが目的の一つです。2020年度には更に1名を雇用し、仲間が増える予定です。

障害のある方を雇って見て、メリットとして感じるのは、作業が非常に真面目だということ。飽きが来るといった単純作業にも、こちらの指示通りに黙々と従事してくれています。また、菌床を担当している人は、健常者の1.5倍ほどの力持ちなので、みんな助けられています。

障害のある方をはじめ、高齢者や短時間労働者、外国人労働者を含めて、人材の多様性を進めている中で、その人の特性を見極めて、能力を最大限に活かしてもらうことが我々の役割であると思っています。



株式会社 森の環(本社)



しいたけの菌床づくりと、収穫までの場合

● 菌床づくり … 【作業内容】 培地を充填した後、台車に載せ殺菌釜に移動する ……

1 充填された培地をコンテナに入れ、移動用の台車に載せる



● 機械で袋詰めされて出てきた培地をコンテナに一定の数で並べ、移動用の台車に載せていく。空いている台車はまた元の位置に戻し、荷積機にセットするという作業を繰り返す。

障害のある人が作業する際には

数を間違えないように、コンテナに並べる。そして、次の工程を想定して準備を行えることが大切。7段の高さがある台車に並べる作業も、ある程度の力が必要になる。

【作業に適した人】 正確に数を数えられる人、力に自信のある人

2 殺菌釜に入れる



● 培地入りのコンテナがぎっしりと積まれた滑車付きの台車を、殺菌釜へと移動させ、限られたスペースの殺菌釜にきれいに収納させる作業。体力と経験値が必要な作業。

障害のある人が作業する際には

培地を積んだ台車は重さ300kgにもなる。うまく動かすためには力に自信があり、経験を積んだ男性が担当。倒せば事故の危険性にもつながるため、注意力も求められる。

【作業に適した人】 力に自信のある人、注意力のある人

● 栽培管理と収穫 … 【作業内容】 しいたけ芽摘みや収穫、菌床の出し入れ及び浸水作業、ハウス内の清掃 ……

1 栽培ハウスで芽摘みと収穫を行う



● 大きく丈夫なしいたけが育つよう、定期的に不要な部分の芽かきを行い、成長したら摘み取りをする。砺波工場の栽培ハウスでは、12年の経験を積んだ障害のある人が作業を担当している。

障害のある人が作業する際には

培地の生育状況を見て、どの部分を省くか、残すかという判断を瞬時にできることが求められるため、経験を重ねることで、手際良く、無駄なく摘み取りできる技術も身につけていく。

【作業に適した人】 判断力のある人、器用な人

2 収穫後のハウス内を清掃する



● 収穫が終わった後は培地を棚から下ろし、棚と床などの洗浄と消毒を行う。次の栽培に向けて、虫などが発生しないよう高圧洗浄機で、隅々まで時間をかけて汚れを取り除く。

障害のある人が作業する際には

元気なしいたけを育てるには清潔なハウス環境を保つことが重要。たくさんの菌が住み着いているため、高圧洗浄機を使用して、細かい汚れに気づいて、根気よく作業できる人が担当する。

【作業に適した人】 汚れに気付く人、細かい作業



工夫を積み重ねて、自信が持てるようになった。

始めたての頃は、どのようにしていいかわかりませんでした。細かい汚れの洗い残しもありましたが、自分なりにどうしたらいいか考え、工夫して、今では洗いの残しの無いようにできるようになりました。

日々の積み重ねの中で、課題を見つけて取り組むことで、スタッフの方に言われなくても、できるようになりました。だんだん慣れてきて、この仕事にやりがいを感じています。いつも元気に働けるように、体調管理には気をつけています。

